

Nano Bio College 2021

ナノ バイオカレッジ



受講料
無料

2021
1/12 (火)
16:20 ~ 17:50

甲南大学
先端生命工学研究所(FIBER)および
日本大学よりオンライン配信

申し込み締切り: 2021年1月6日 (水)

本講座はバイオ(生物)をナノ(10億分の1)レベルで活用する最先端技術“ナノバイオテクノロジー”に関して様々なトピックを取り上げてわかりやすく解説する人気シリーズです。今回は、「新型コロナウイルス感染症に挑む」と題した、医薬品業界における最先端の科学技術トピックスを解説いたします。「未来講義」では、先端生命工学研究所(FIBER)の教員から、新型コロナウイルス感染症の検査方法および医薬品開発に関する現状と、関連するFIBERでの研究成果について紹介いたします。「特別講義」では、生物有機化学を専門とし、疾患の早期診断を可能にする人工核酸分子の創出などで優れた研究成果を発信されている日本大学の桑原正靖教授にご講演いただきます。桑原教授からは、PCRよりも簡便で迅速な検査法として製薬企業と共同開発を進めている革新的核酸増幅法(SATIC法)によるウイルス検査法の開発に関する研究成果について講演していただきます。

16:20 ~ 16:40

未来講義

遺伝子の基礎とPCR・抗原・抗体検査の実際 COVID-19の検査法

新型コロナウイルス感染症の検査方法としてPCRや抗原、抗体を用いた検査が行われています。本講演では、遺伝子の仕組みや遺伝子解析技術について解説し、これらの技術が新型コロナウイルス感染症の検査にどのように応用されているのかをわかりやすく解説します。

甲南大学 先端生命工学研究所
准教授 建石 寿枝

Assos. Prof. Hisae Tateishi - Karimata
(Konan University, FIBER)



16:40 ~ 17:00

未来講義

創薬の基礎と抗ウイルス薬・ワクチンの実際 COVID-19の治療薬

新型コロナウイルス感染症の治療薬としてアビガンなどの医薬品や、RNAワクチンなどが世界中で研究・開発されています。本講演では、新型コロナウイルス感染症に対する医薬品の開発について、創薬の流れや発症メカニズムを解説し、科学技術がどのように医薬品の開発に貢献しているかをわかりやすく解説します。

甲南大学 先端生命工学研究所
助教 松本 咲

Assis. Prof. Saki Matsumoto
(Konan University, FIBER)



17:00 ~ 17:50

特別講義

世界最先端ウイルス検査技術開発の実際 簡便迅速化を目指した COVID-19の新しい検査法の開発

現在、新型コロナウイルスに感染しているかをどうかを検査するためには、TaqManプローブを用いた定量PCR法が最も良く利用されています。等温遺伝子増幅法等を用いることで、より簡便性を高めたいくつかの方法が開発され、すでに一部は実用化されています。本講演では、それらの性能や仕組みなどについて定量PCR法と対比しながら解説します。

日本大学
文理学部化学科
教授 桑原 正靖

Prof. Masayasu Kuwahara
(Nihon University)



申し込み方法

右記の問い合わせ先にメールまたはFAXで
① ご氏名 ② ご所属 ③ ご連絡先
を記載してご連絡ください(参加無料)。
詳細は追ってご連絡いたします。
※申し込みメール送信後3日以内返信がない場合は、
問い合わせ先までご連絡ください。
① FIBERのホームページからお申込みいただけます。

お問い合わせ

甲南大学先端生命工学研究所(FIBER)
〒650-0047 神戸市中央区港島南町7丁目1-20
Tel 078-303-1147 Fax 078-303-1495
Email fiber@adm.konan-u.ac.jp
http://www.konan-fiber.jp